

2018年6月6日(水)

4年生「武蔵野クリーンセンター見学」

今日は「武蔵野クリーンセンター」へ見学に行きました。

中央制御室では、1号炉:1,000℃、2号炉:975℃の熱でゴミを燃やしている様子をモニター越しに見ました。焼却する際に発生する、排ガス測定値(硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素、ばいじん等)も随時見られ、国の環境基準値を大きく下回っていることも教えていただきました。ゴミクレーンで約1トンのごみをつかみ、焼却炉に入れている様子に歓声をあげたり、不燃・粗大ごみは、一次破砕機・二次破砕機・磁力選別機を通して分別されていく様子も見ることができました。

また、1984年度～32年間ゴミの焼却をしていた古いクリーンセンターが現在解体されていることや、高さ59mの煙突はリユースされていることの話も聞かれました。

ごみは燃やされることで灰になり重さが約10分の1、体積が約30分の1になること、灰は日の出町エコセメント化施設に運ばれて歩道などのブロックに生まれ変わっていることも教えていただきました。

案内して下さった方のユニフォームは、ペットボトルをリサイクルしたものであることを知ると皆驚いていました。

武蔵野クリーンセンターの皆さま、お忙しい中丁寧な案内・説明をありがとうございました。

